

みらさか小学校生徒指導規程細則

1 生徒指導規程 第2章 「1 学校生活に関すること」について

(1) 登下校について

- ① 朝，集合時刻に遅れない。
- ② 通学班で，班長を先頭に一行又は二列に並んで登下校する。
- ③ 出会った人には大きな声で挨拶する。
- ④ ぼうしをかぶる。
- ⑤ ぼうしを忘れた場合には保健室で借りる。使用後に洗濯して返す。
- ⑥ 下校集合時刻に遅れない。集まったら静かに座って待つ。

(2) 服装等について

- ① 制服や体操服等の基準を守る。(別紙「PTA の基準服について」)
- ② シャツは，ズボンやスカートの中に入れる。
- ③ ソックスは白・黒・紺色。くるぶし以上で膝下の物とする。
- ④ 頭髪は，染色等は禁止し，清潔かつ自然な髪形や長さとする。

(極端な刈り上げや剃りこみ等，不自然な髪形は控える。)

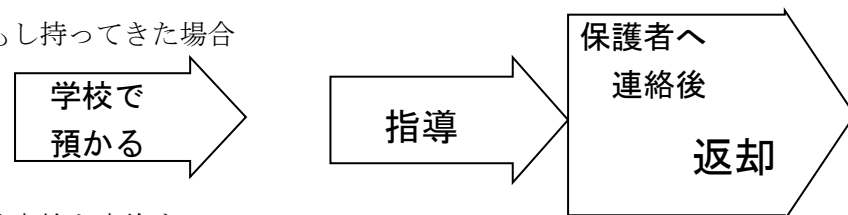
肩や目にかからない長さで，長い場合は黒・紺・茶色のゴムで結ぶか黒ピンで留める。ゴムで束ねる場合，結び目は，耳より下で一つまたは二つにまとめる。

- ⑤ 体育の時間には，安全のためにシャツをズボンの中に入れ，必ず赤白帽子をかぶりゴムひもをかける。
- ⑥ 靴は，運動しやすいものにする。(別紙「PTA の基準服について」)

(3) 持ち物について

- ① 持ち物には名前を書く。名前が消えかかっているもの，譲り受けたものも確かめる。
- ② 学習に必要な物は持ってこない。また，必要以上に物を持ってこない。

※ もし持ってきた場合



- ③ 持ち物点検を実施する。
- ④ 持ち物にシールなどで装飾をしたり，キーホルダーなどを付けたりしない。
- ⑤ 防犯ベルを持って登下校する。電池切れや故障で鳴らなくなっていないかどうか，時々確かめる。
- ⑥ 置き傘を1本用意しておく。
- ⑦ 暑い季節は，水筒・タオルを準備する。

(4) 欠席・体育の見学の連絡について

- ① 欠席・遅刻の時・・・朝8：15までに学校に電話等で連絡する。通学班にも連絡する。
- ② 体育の見学・・・連絡帳や電話などで連絡する。

(5) 電話使用について

- ① 私用電話は原則できない。事情によって必要な場合には，1回10円を後日支払う。
- ② 緊急の場合，連絡ができるようにしておく。

(6) 職員室の来室について

- ① 入室・退室の仕方を守る。(ノック，あいさつ，名前を言う。誰に用事かも言う。)
- ② 借りたいものがあるときは職員室に来室し，用件をはっきりと言い，許可を得てから借りる。
- ③ 借りたものは，きちんと返す。返すときには職員室で報告する。
- ④ 保護者が児童の忘れ物を届ける場合には，職員室に届ける。

(7) 公共物破損について

- ① 児童は，破損届けを書き，担任から保護者に連絡する。また，事情を聞き指導するが，原則弁償とする。

2 生徒指導規程 第3章 「1 校外での生活に関すること」について

(1) 生活

- ① 「3点固定」など，基本的な生活習慣を身に付ける。
- ② 朝食をしっかりとる。
- ③ 気持ちの良い挨拶を家庭や地域の人と元気よくかわす。
- ④ テレビやゲームは，曜日や時間を決める。
- ⑤ 自分でできる仕事や手伝いを進んでする。
- ⑥ むだ遣いをしないように気をつける。

(2) 外出

- ① 自分の身を守るための「いかのおすし」を守る。
「いかない」「のらない」「おおごえをだす」「すぐにげる」「しらせる」
 - ・ 一人では遊ばない。
 - ・ 遊びに行く時は，「どこで」「だれと」遊ぶのか，家の人に言って出かける。
- ② 帰宅時刻は，冬時間（9月～4月）は5時，夏時間（5月～8月）は6時。
- ③ 交通ルールを守り，正しい歩行・自転車の乗り方をする。自転車に乗る時はヘルメットを着用する。
- ④ 子どもだけの川など危険な場所で遊ばない。火遊びをしない。
- ⑤ 店には用事がある時だけ行くようにする。万引きなどの犯罪や店に迷惑をかけることをしない。

3 家庭での学習や準備について

(1) 家庭学習の目的

- ① 学習習慣を身に付ける。
- ② 学習の仕方を身に付ける。
- ③ 繰り返し学習し，学習内容を身に付ける。

(2) 家庭学習の約束

- ① 自分が決めた時刻に始める。
- ② 毎日，同じ時間，同じ場所で勉強する。
- ③ 宿題は，全部やりきる。分からないところは，次の日，先生に聞いてやりきる。
- ④ 集中して勉強する。
(テレビを見ながら・音楽を聴きながら・食べながらなどの“ながら勉強”はしない。)
- ⑤ 勉強が終わったら，連絡帳を見ながら次の日の準備をする。

⑥ 家庭学習の時間のめやす

低学年：20分以上 中学年：40分以上 高学年：60分以上
土・日曜日には、1～2時間をめやすに勉強する。

(3) 忘れ物について

① 「〇〇を忘れました。」

授業が始まる前に何を忘れたのかを先生に伝える。

② 「だから、隣の人に見せてもらいます。」

「だから、〇〇を貸していただけませんか。」

どうするのか自分の考えを伝える。

③ 「(忘れ物を借りた先生、隣の人に対して) ありがとうございます。」

感謝の気持ちを伝える。

〈宿題を出さなかったり、忘れ物をしたりすることが続く場合〉

- ・ 学校でできることはする。
- ・ 電話をかけて持ってきてもらうことはしない。

(4) 学用品について

① 学校に持ってくる学習用具

☆ 学校は、学習をするところです。

- 学習に必要なものだけを持ってくる。
- 持ち物には、全て名前を書く。

② 筆箱の中

☆ 次のものを入れてくる。

- けずったえんぴつ5本(2BまたはB、六角形が望ましい。)※シャープペン是不可
- けずった赤えんぴつと青えんぴつ※ボールペンは不可
- 消しゴム(よく消えるもの)
- 名前ペン
- ものさし

③ お道具箱の中

- のり
- はさみ
- 色えんぴつ
- その他…学年に応じて次のものを準備する。
(クレパス、三角定規、分度器、コンパス)